

令和5年度事業 効果検証結果に対する総合計画審議会委員からの意見一覧

ページ 番号	事業No	事業名	担当課	意見
12	第1章-7	学童保育所整備事業	子育て支援課	効果検証箇所に「計245人の定員拡大を図ったが、…一部の小学校で多くの待機児童が発生した」とありますが、待機児童数（見込）に関する事前調査をしないで、定員増を図ったのでしょうか。
13	第1章-8	放課後子ども教室推進事業	子育て支援課	指標が「放課後子ども教室登録児童数」となっていますが、事業趣旨からすると「安全管理員数」ではないでしょうか。
17	第1章-12	高齢者外出支援事業	長寿支援課	■良い点 ・乗車時の使用可能枚数を最大2枚／回に増やすことは利便性向上で評価できる。 ・制度対象者要件から駅またはバス停からの距離要件を削除したのは評価できる。 ■問題点 制度対象者を介護認定のある市民税非課税者を対象に限定したことは、これまでバス停から離れた健常者の高齢者の移動支援を切り捨てる公共交通の観点、また、昨今の介護予防の観点から公的機関が健康寿命を延ばして介護保険の負担を減少させる取り組みに対する福祉交通の観点、いずれからも改悪の改定と言わざるを得ない。
37	第3章-11	防犯カメラ設置費補助事業	危機管理課	維持管理費の一部を補助すれば申請者が増えるのではないのでしょうか。
39	第3章-13	自転車ネットワーク整備事業	土木維持課	指標の目標が自転車通行帯の整備路線数となっているが、計画では都市計画道路を中心に、交通量の多い路線を選定して計画されていますが、現道の状況によることは理解しますが、「自転車道」「自転車専用通行帯」「車道混在」と整備形態を分類している中で、整備評価は、単なる着手した、あるいは完成した路線数だけではなく、自転車道の形態別の整備評価も必要ではないかと思います。ネットワークの優先順位の考え方として、できる箇所を整備しただけではなく、ネットワークとしての連続性がどの程度改善されたかの改善目標も本来検討すべきではないかと思います。
62	第4章-15	八千代市地域公共交通計画策定事業	都市計画課	効果検証に、地域公共交通の潜在的な課題の明確化及び実施事業の方向性を八千代市公共交通会議で合意できた点とあるが、冒頭の質問個所の計画74頁の事業6①では、R6から「検討、適宜実施」とされている。方向性が確認できたものの実施を早めるのは良いが、公共交通利用者への影響が大きく出る今回の施策を、地域公共交通会議で検討、議論されずに実施されたことは、会議の委員として看過できるものではない。
78	第5章-1	防災道の駅やちよ整備事業	農政課	ウォーターフロント資源をベースに、道の駅を中心とした拠点形成には公共交通のアクセス、特に村上駅から週末・祝祭日における対応を検討してほしい。
84	計画の推進-3	地域コミュニティ推進講座開催事業	コミュニティ推進課	大学教授等の講師を招聘し、効果が高い講座にする必要があるとの見解があるということですが、どのような講座をお求めなのかを明らかにし、八千代市にある大学に出前授業として依頼してみてもいかがでしょうか。
94	計画の推進-13	庁舎建設事業	庁舎総合整備課	大前提となる新庁舎の具体的な内容についての、市民へのアピール・説明不足をクリアしてほしい。